# さんだ女子防災部

ミラクルウィッシュ

# NPO法人ミラクルウィッシュの活動

# これまでの活動2019年4月～8月（11回）

| | プランの立案と調整 | 活動準備 | 実践活動 |
|---|---|---|---|
| 4月 | ①　三田市消防大会<br><br>②　阿倍野区ふらっとひろばままちっちにて防災講座 | ①防災グッズ・パネルの準備<br><br>②講座の告知・参加者募集 | ①30名近くの親子が立ち寄ってくださり、啓発することができた<br>②10組の乳幼児親子が参加。実際大阪北部地震の話なども交えお話し。 |
| 5月 | ③三田市防災・減災フェスティバル<br><br>④尼崎キューズモールにて防災講座 | ③防災ポーチワークショップ準備<br><br>④講座の告知・参加者募集<br>尼崎の地震に関する情報を市役所に問い合わす | ③150名の方がブースへ立ち寄り<br>20名がワークショップを行う<br>④9組の親子が参加。防災グッズに興味深々でした。 |
| 6月 | ⑤阿倍野区パラコードブレスレットづくり<br><br>⑥阿倍野防災センタータスカル見学<br><br>⑦箕面キューズモールにて防災講座<br><br>⑧三田市サークルオハナプロジェクトにて防災講座<br><br>⑨オハナフェスにて子どもの防災リュックの展示 | ⑤防災士増田氏への依頼・講座の告知・参加者募集・会場手配<br><br>⑥見学の予約・会場下見<br><br>⑦講座の告知・参加者募集<br><br>⑧参加者が聞きたい内容を事前にヒアリングする<br><br>⑨こどもにとってあるといい防災グッズを準備 | ⑤15名の親子が参加。パラコードを作りながら、防災に役立つ情報などを提供。小学生以下の子どもさんは「きけんはっけん」ゲームをし、防災シュミレーションをする。<br>⑥5組の親子参加。地震の体験により、より備えについて考えられた。<br>⑦10組の親子が参加。今回パパの参加も多くみられた<br><br>⑧5人のママが参加。三田市の防災と備蓄についてお話ししました。<br><br>⑨展示し、来場者さんへ啓発。 |
| 7月 | ⑩尼崎キューズモール<br>七夕まつり　防災ブース出展<br><br>⑪三田市液体ミルク試飲と身近なものが災害時役に立つワークショップ | ⑩　100均防災グッズを新たに追加する。アレルギーマーク使用許可をとる<br><br>⑪　防災士釜渕氏に講師依頼。三田市から液体ミルク提供 | ①　20名の方が立ち寄ってくださり、アレルギーマークを防災リュックに着けることをご存知ない方もたくさんいた。<br>②　腹帯・ビニール袋を活用体験。液体ミルクをがぶがぶ飲んでいたお子さんが印象的だった。 |

# これまでの活動2019年9月～2019年12月（11回）
# 開催予定2020年1月～3月（８回）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 9月 | ⑫池田市男女共生サロン事業にて防災講座<br><br>⑬パナソニックスタジアムにて防災ブース出展<br><br>⑭吹田JC主催防災イベントにて防災ブース出展<br><br>⑮住之江区主催子供向け防災ワークショップ | ⑫　担当者との打ち合わせ・池田市の危機管理課への災害予測などを問い合わせる<br>⑬　α化米の試食・液体ミルク・防災クイズの準備<br><br>⑭　吹田危機管理課にα化米・防災クイズ手配<br><br>⑮　ぼうさいまちがいさがしの練習・パラコードブレスレット準備 | ⑫5組の親子が参加。トイレの備蓄やサバイバルシートの体験<br>⑬50名以上の方にクイズに答えてもらい防災について考えてもらう機会ができた。<br>⑭α化米のおにぎりを200個配布<br>たくさんの子どもたちがクイズに回答してくれた<br>⑮20人以上の小学生が参加。 |
| 10月 | ⑯オンライン防災講座 | ⑯　事前募集・参加者のニーズ調査 | ⑯8名の関東・関西・中部・四国のママが参加 |
| 11月 | ⑰三田市ミラクル親子パークinさんだにて防災講演会<br>⑱あべの親子防災部キックオフ<br>防災どうしてる？おしゃべり会<br>⑲三田市防災訓練<br>⑳千里子どもメディカルラリーにて<br>小学生向け防災クイズ・α化米の試食<br>㉑兵庫防災フェスタにて乳幼児向け防災講座 | ⑰　辻由起子氏に講師依頼、飲むご飯の試食準備、<br>ブースの展示準備。<br>⑱　出た意見をまとめるために模造紙やペンや付箋を準備。事前募集<br>⑲　事前準備なし<br>⑳　クイズの準備・試食の準備<br><br>㉑　主催者との打ち合わせ、トイレの備蓄についての準備 | ⑰　イベントとの同時開催で1200名の来場者。ボランティアの高校生にもかかわってもらったこともよかった。<br>⑱　10組の親子が参加。たくさんの意見がでて、今地震が起こったらという想定で避難訓練もしました。<br>⑲　段ボールベッドや簡易トイレ炊き出しなどを体験<br>⑳　80名の4年生～6年生にクイズ、試食をしてもらう。<br><br>㉑　10組の親子が参加。簡易トイレの体験や防止グッズの紹介をした。 |
| 12月 | ㉒　いけだ防災フェスタにて防災ブース出展 | ㉒　防災グッズの準備、掲示用ポスター準備 | ㉒60名以上の方がブースに立ち寄ってくださり防災グッズをみてくれた。 |
| 1月 | 23　あべの親子防災部　非常食体験<br>24　尼崎大原クリニックにて妊婦さん向け防災講座<br>25　JCOMにて防災グッズ等の啓発 | 23　非常食の準備、参加者を事前に募集<br>24　担当者との打ち合わせ、液体ミルクの試飲準備<br><br>25担当者と打ち合わせをし、スタジオにて事前に撮影 | |
| 2月 | 26　阿倍野区子育て連絡協議会にて防災講座<br><br>27　大阪にて関西防災部交流会 | 26　担当者との打ち合わせ、α化米・液体ミルクの試食準備<br>27　16団体が集まり、活動紹介、抱えている悩みや問題などを共有 | |
| 3月 | 28　あべの防災フェスタ出展<br>29　ミラクル親子パークin篠山防災啓発ブース<br><br>30　ままちっちfesta防災啓発ブース | 28　担当者との打ち合わせ避難所体験準備<br>29　防災グッズの展示、ビニール袋でカッパづくり準備<br>30　防災グッズ展示物・防災クイズ準備 | |

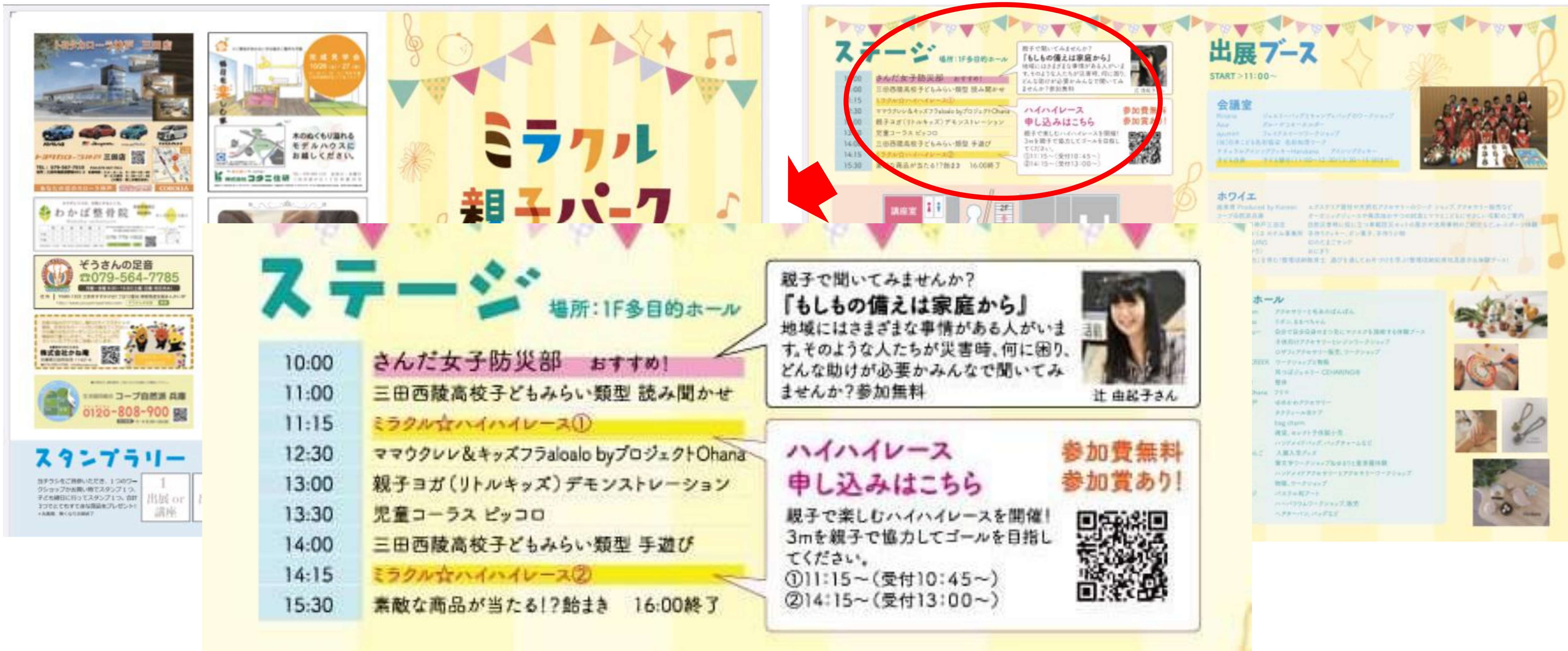
# 中間報告会時にあげた抱えている課題

- 計画通り、たくさんのママサークルさんや地域で活動している団体の中で防災啓発や、イベント出展へのお声をかけていただくことができつつあります。
- しかし、その参加者が、防災を一緒に伝えていく仲間として活動してもらえるかということまではまだできていません。
- あと、9月は防災月間ということもあり
  募集を2か月前からかけるも全く人が集まらない状況でした。
- 10月以降はその課題を乗り越えるべく、
  計画にもあるようにミラクルウィッシュが主催するイベントにて防災講演会を開催し、
  防災の意識がまだまだ低い家庭に啓発していきたいと思います。

# 活動を通して

- 他エリアの防災部さんと協力し、地域イベントでの防災啓発を行い、団体同士の交流や、悩み・強みなどを共有しながら活動を広げていくことができました。
- そして、活動プランで当初から企画していた
開催としては、2回目となる「ミラクル親子パークinさんだ」（自主開催の地域とママと企業をつなぐイベント）にて、
防災講演会を開催。その後もイベント終了まで、防災ブースにて啓発をおこないました。

# 11/4　ミラクル親子パーク チラシ



# ミラクル親子パーク とは

- 「ミラクル親子パーク」とは、子育て中の親子を中心に、
  ママとこども同士のコミュニケーション から
  生まれる新しい価値観、知らなかった自分、
  無理のない社会とのかかわり方を互いに学びあえる場、
  だれでも参加・参画できる事業です。

- 誰でも自分らしいく生きる力をともにはぐくみ、
  助け合い、共に生きる子育て
  ママと子どもたち のコミュニティーや
  活躍の場をつくるきっかけをつくります。

- 1度だけのイベントでなく、
  ママ達や子どもたち自ら創造する参画を目指し、
  事業でなく事業 理念を継続できることを
  目指しています。

- 今回、イベントに参加して下さるすべての方に
- 「防災」を考えてもらう機会を！
  っという大きなテーマで
  三田市総合福祉保健センターの全館を借りて開催。
- チラシは14000枚印刷し、配布。

- 配布先は
  三田市・三田市教育委員会の後援もいただき、
  三田市内のすべての小学校・幼稚園・保育園、公共施設への設置、
  ご協力いただけるスーパーや、
  子どもが利用する施設などにもチラシを設置させていただきました。

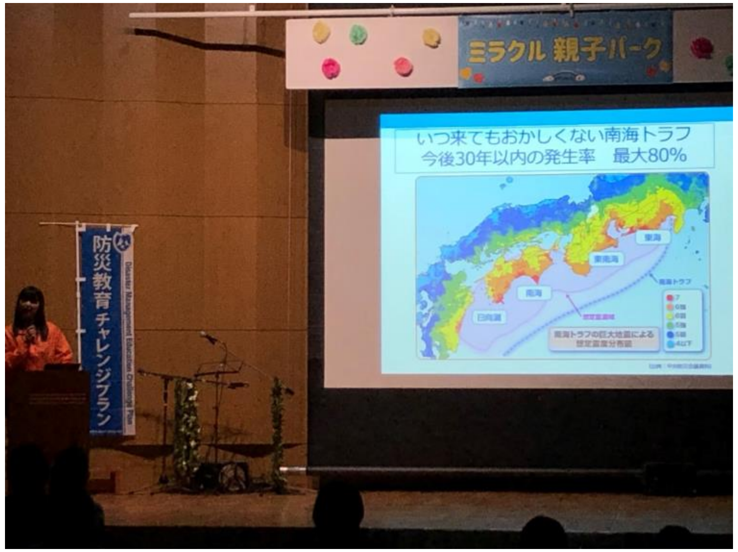
- 出展ブースは25ブース
- 企業ブースは7ブース

- 三田市という土地柄車での生活がほとんどなので、
トヨタカローラ三田店さんにお願いし、
車の中に閉じ込められた時の脱出方法についての
レクチャーも行っていただきました。
- 車の窓ガラスを割る↓

シートベルトを切る↓

- 防災講演会は、ほくせつ親子防災部の代表でもある
  辻由起子さんに今年も登壇いただき、
  小学生の参加も多かったため、急遽小学生でもわかる、

「自分の身を守るために」というキーワードで
ご講演いただきました。



- 講演会への参加者は300名と自主開催の防災講座の中で過去最高の人数の方々に来場いただきました。

- ボランティアで来てくれた高校生たちも防災意識が高まったボランティアしてよかったといってもらえました。
- イベントトータルとしては1200名もの方々に来場していただき、防災ブースにもたくさんの方に立ち寄っていただき、質問や、飲めるごはん・液体ミルクの試飲をしてくださいました。

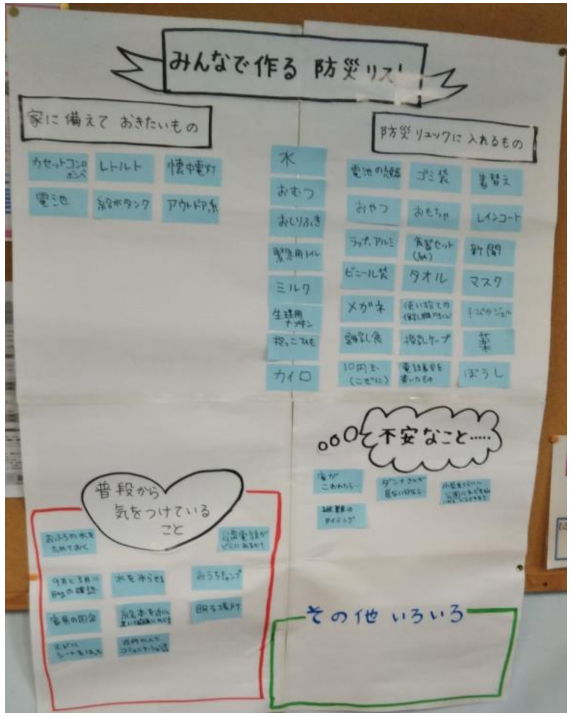
- 今回チャレンジプランで、アドバイスいただき、メンバーとも何度も話あい、
  たくさんの方々にイベントの中で「防災をかんがえる」大きなきっかけになることができました。
- 本当にありがとございました。

# このプランをきっかけに①

- 「防災部を立ち上げたい」という声をいただきました。
- あべの親子防災部を立ち上げ活動をスタートしました。
- 1回目は「防災どうしてる?」
- 参加者8組（0～1歳児と母親）

みんなで作る防災リストとして、
家に備えておきたいもの、防災リュックに入れるもの、
普段から気をつけていること、
不安なことなどを皆で意見を出し合いました。

- その後地震を想定して、頭と子どもを守り、
  2階から何分で外まで出らるかを測りました。
  1分5秒で、子どもを抱っこし、
  荷物を持って1階まで逃げることができました。



# このプランをきっかけに②

- 産婦人科さんでの防災講座の
依頼をいただきました。
1月末の開催ですが、
伝えたいと思っていた妊婦さんがいる場で
お話しできることをうれしく思っています。

# このプランをきっかけに③

- ママ団体を運営されている方々（関西・関東・中部・四国）に、オンラインにて防災講座・さんだ女子防災部の活動についてお話しし、活動事例も紹介。

- 2月末には関西にある防災部が集まり交流会を開催します。15団体が大阪に集まり勉強・交流を行います。

# このプランをきっかけに④

- イベント内で防災啓発をする効果も期待できると確信し、
- 3月には兵庫県丹波篠山で開催の
  ミラクル親子パークinささやまで
- 大阪市阿倍野区で開催の
  ままちっちFesta2020で
  イベントにて防災啓発ブースを設置予定。

- そのブースも自分たちだけでするのではなく、
  地域の防災に興味のあるママや、すでに地域で防災活動されている団体などに声をかけ、一緒に参画してもらう形でイベントの開催を進めています。

# 最後に

- 1年間の防災部の活動30回を通して、
  このプランがなかったらここまでの活動をすることができなかったと思います。
- 私たちのような小さなママ団体でも可能性を感じ、チャレンジさせていただけたことに感謝しています。
- そして、この活動と並行して、
  7年目となるママサークルミラクルウィッシュが
  法人化することができ、
  NPO法人ミラクルウィッシュとしての活動をスタートさせることができました。
- 次年度も法人として、防災部の事業を続け、
  「その時わが子をまもれますか」をキーワードに活動続けていきたいと思います。

# ご清聴ありがとうございました。